

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 平成24年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院（以下「法人」という。）が5年間で達成すべき目標（以下「中期目標」という。）を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたかを評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況を評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 B（中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる）

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがある

大項目	評価の内容（特筆すべき点・課題）	
住民サービス等の質の向上	特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ○医師募集エージェントの紹介により皮膚科の常勤医師を確保できたことは評価できる。 ○アクシデント件数の減少など医療安全対策の充実が図られており評価できる。 ○マッサージ師を常勤雇用し、患者へのサービスの向上を図るなど特色ある取り組みがなされている。 ○人工透析予防に下呂市とともに取り組み、作成したCKD（慢性腎臓病）パスが岐阜県のパスとして採用されるなど地域連携への取り組みは評価できる。 ○開放型病床の運用を開始したことは評価できる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○常勤医不在の診療科における医師の確保に努力されたい。 ○クリニカルパスの作成にさらなる努力をされるとともに、クリニカルインディケータの導入・公表に向けて検討されたい。 ○近隣の医療機関との役割分担を明確にするとともに、さらなる紹介率・逆紹介率の向上に取り組まされたい。 ○地域連携クリニカルパスの運用について、引き続き、積極的に取り組まされたい。 ○独自の研修プログラムを開発し、地域医療を目指す医師の養成に努めるとともに、特色ある病院運営を目指されることを期待する。
業務運営の改善及び効率化	特筆すべき点	○医師事務作業補助者を増員し医師の負担軽減に取り組む努力が見られる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○アウトソーシングを積極的に取り入れ業務の合理化に向けて引き続き検討されたい。 ○次年度には、人事評価システムが構築できるよう引き続き努力されたい。 ○新病院開院に向けて、病床利用率の向上策及び平均在日数の目標設定について取り組まされたい。
予算、収支計画及び資金計画	課題	○新病院開院後の経営方針・経営計画を速やかに策定し、経常収支比率の向上など赤字改善に向けての積極的な取り組みを進められたい。
その他	特筆すべき点	○院内保育所の土曜保育を制度化して、病院職員が働きやすい環境整備を図っており評価できる。